

第1回かほく市特定教育・保育施設運営等検討委員会 会議録

○会議の概要

開催日時	平成28年6月1日(水)13時30分から15時00分まで	
開催場所	かほく市役所西フロア 3F302会議室	
出席者の氏名	委員	油野委員、木村委員、山本委員、武内委員、田甫委員、櫻井委員、村上委員、尾山委員、和泉委員、細井委員、星名委員、吉田委員、本多委員、上田委員 (以上14名)
	事務局	市長：油野、市民部長：森田、子育て支援課長：千田、 子育て支援課長補佐：北川、子育て支援課保育園係長：本出、 子育て支援課保育園係主査：酒井(以上6名)
欠席委員	0名	
傍聴者	0名	
議題	(1) これまでの保育園整備などの検討経緯 (2) 今後のスケジュールについて (3) 市内公立保育園、私立幼稚園の現況について (4) 認定こども園について (5) 調査検討及び提言の内容について	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 参加者名簿</li> <li>・ かほく市特定教育・保育施設運営等検討委員会設置要綱</li> <li>・ 資料1 第1回かほく市特定教育・保育施設運営等検討委員会</li> <li>・ 資料2 認定こども園の意識調査結果報告(ニーズ)について</li> <li>・ 資料3 子ども・子育て支援新制度ハンドブック(H27.7改訂版)</li> </ul>	

○議事要旨

発言者	発言要旨
1 開会	
2 委嘱状交付	
3 市長あいさつ	
4 委員及び事務局紹介	
5 委員長・副委員長選出	(委員長：本多委員 副委員長：油野委員)
6 委員長あいさつ	※市長退席
7 議事	
(1) これまでの保育園整備などの検討経緯	
委員長	・ これまでの保育園整備などの検討経緯について、事務局より説明をお願いします。
事務局	[資料1の1に基づき説明] ・ H17年度から現在までの検討経緯について ・ 調査検討の体制について
委員長	・ 事務局からの説明について、何かご質問やご意見はありませんか。

委員	・特になし
(2) 今後のスケジュールについて	
委員長	・今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。
事務局	[資料1の2、資料2に基づき、説明]
委員長	・事務局からの説明について、何かご質問やご意見はありませんか。
委員	・特になし
(3) 市内公立保育園、私立幼稚園の現況について	
委員長	・市内公立保育園、私立幼稚園の現況について事務局より説明をお願いします。
事務局	[資料1の3に基づき、説明] ・市内公立保育園の特徴、市内施設数、入園児数、特別保育事業について ・私立幼稚園の特徴、市内施設数、入園児数、地域型保育事業（小規模保育園）について
委員長	・事務局からの説明について、せっかくの機会ですので、幼稚園の方から補足はありませんでしょうか。
委員	・うのけ幼稚園は現在、市内から122名の園児に通っていただいています。来年度からうのけ幼稚園は、幼稚園型の認定こども園に移行することを予定しております。
委員	・現在、木津幼稚園は私学助成の幼稚園として運営しております。いろんな方からお話を聞くと、認定こども園に移行することは保育園化することとしてとらえられ、幼稚園の良さをなくさないでください、認定こども園になるのはちょっと待って下さいといわれる。しかし、国や県、市の担当者からは、幼稚園の中に保育園機能も持ち、どちらの良さも発揮できるので、むしろ今以上に良くなっていくとお聞きしている。小規模保育園も稼働させたので、今後さらに幼稚園と保育園のどちらの良さも生かしていければなあと思っている。
委員長	・上田委員は富山県の方で、認定こども園、保育園、幼稚園の運営をおこなっておりますが何かございますか。
委員	・現在、富山県射水市の方で、幼稚園、保育園、認定こども園の運営をともに行っています。制度上の事を言いますと保育園の入園については、市が決めます。幼稚園の入園は園が決めます。保育園の保育料については市が決めます。今の2園の幼稚園の保育料については、園が決めます。ですから、保育園と幼稚園ではかなり違った文化の中で育ってきたということを認識していただき、次の認定こども園の件について、ご検討いただければと思います。
委員	・認定こども園の所管はどちらになるんですか。文科省と厚労省の両方でやるんですか。
委員	・認定こども園は内閣府の所管になります。予算措置的には内閣府になります。幼稚園予算については文科省が決め、保育園予算については厚労省が決め、その人数配分等により内閣府が振り分けている状況です。
委員	・了解しました。
委員長	・それでは、時間もございますので、次の議事の方に移らせていただきます。
(4) 認定こども園について	
委員長	・認定こども園について、事務局より説明をお願いします。
事務局	[資料1の4に基づき、説明] ・認定こども園の特徴 ・市内施設数

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員資格</li> <li>・認定こども園の類型（概要）</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田委員の方から補足説明はございますか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に運営している立場から、認定こども園の制度の違いはどんなものがお話させていただきます。認定こども園は、段々少子化になってきた現在、一つの地域に幼稚園と保育園がそれぞれは必要ないだろうという発想から生まれたものであり、小学校は保護者が働いている、働いていないということに関係なく誰でも入れる。それと同じように保育園と幼稚園の機能が一つとなり、地域の子どもなら誰でも入れる施設が本来必要なのではないかという考えから、地域の拠点として始まったのが認定こども園であります。保育料についても、認定こども園の場合は幼稚園機能の児童も保育園機能の児童も、ともに市の認定を受けた児童の保育料は、全て市が決めることとなります。現在、移行期なので、いろんな認定こども園の型がありますが、最終的には全て、教育と保育が平等に受けられる幼保連携型の認定こども園になっていくものと思われまます。現在、石川県では100を越える認定こども園があります。そのほとんどが保育園からの移行です。すごい勢いで増えています。大元の根底にはやはり少子化である。また、実際、運営しているとたくさん問題点もある。いろんな預かり時間の児童がでてくるので、何種類の子どもの預かり時間が出てきており、それらを幼稚園、保育園だけでは、できない。やはり幼保の連携は必要となってきたのではないかと思います。以上です。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有難うございました。石川県内に100園を越える認定こども園があるようで、保育園からの移行が多いようですが、幼稚園からの移行についてはどのようなものでしょうか。幼稚園の園長の方で、おわかりでしょうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県内に61園の幼稚園があり、まだ7園しか認定こども園に移行していない。移行している園は、奥能登の方の少子化が進んでいる園に多い。徐々に金沢市内の園も移行しているが小規模の園から進んでいるように思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園に比べて、保育園の方が移行数が多いのには理由があります。それは、認定こども園となる場合、給食室が自前で必要であり、幼稚園の場合は給食室を整備する必要があります。保育園は全て整備されている中での移行ですので、条件が揃っており移行しやすい状況にあります。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有難うございました。その他に何かありませんか？武内議員いかがでしょうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の保育園、幼稚園が全部が全部認定こども園になってしまうと、その園の独自性がなくなってしまうのではないかと心配です。如何なものでしょうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うのけ幼稚園は、県の担当者の説明を聞いたときに、園での教育方針（特色）を変える必要はなくより良い教育を行えるということで移行を決意した。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園と保育園では保護者意識が違う。経営者意識も全く違う。認定こども園になるとますます特色が出てくると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日園長の方から、保護者会で認定こども園に移行するお話をお聞きした。保護者の中でもうのけ幼稚園の特色がなくなっていくのではないかと声もありました。また、認定こども園になると預かりの時間も色々と長くなり、先生方の負担もかなり増えるのではないかと心配しております。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園になると、預かり時間のパターンも複数になり、職員も交代要員も増やしていく必要がある。その辺はそれぞれの園のやり方次第であるように思う。</li> </ul>

委員長	・他に何かございますか
委員	・保護者の立場にたつと保育料金の事が心配です。現在、木津幼稚園は私学助成の園であるので、幼稚園就園奨励費としてかほく市の方からも補助をしていただき、大変助かっている。幼稚園就園奨励費は、各自治体の状況により若干補助額が違っており、近隣自治体から通っている児童については、補助額が少なくなっている現状であります。
委員長	・有難うございました。まだまだご意見もあるかもしれませんが、お時間も参りましたので、次の議案に移らせていただきます。
(5) 調査検討及び提言の内容について ※細井委員退席	
委員長	・調査検討及び提言の内容について、事務局より説明をお願いします。
事務局	[資料1の5に基づき説明]
委員長	・事務局からの説明について、何かご質問やご意見はありませんか。
委員	・特になし
8 閉会	
	森田市民部長あいさつ